

西洋美術館とル・コルビュジェは、パリから松方コレクションが返還されることになったことからコルビュジェに設計依頼をした。コルの基本設計をもとに当時コルの事務所で働いたことのある前川・坂倉・吉阪の三人で実施設計・監理を行ったという建物です。貝殻の渦を巻く動線を建物に取り入れ拡大できる形式をとったのだという。美樹幹の機能として斬新なアイデアでした。もう一つあって渦巻美術館は、アメリカ・ニューヨークにあり、フランク・ロイド・ライトの設計で正に貝殻で渦巻が上方に伸びてゆく形になっています。期せずして両巨頭が手がけているのが面白いです。

コルの美術館は水平の渦巻形式をとっているが、ライトは、垂直に上に伸びている反対なのも面白い。



グッケンハイム美術館 フランク・ロイド・ライト設計

**西洋美術館： 展覧会特設サイトより**

20世紀建築の巨匠ル・コルビュジェ(1887-1965)が設計した国立西洋美術館本館は、2016年にユネスコ世界文化遺産に登録されました。開館60周年を記念して開催される本展は、若きシャルル=エドゥアール・ジャンヌレ(ル・コルビュジェの本名)が故郷のスイスを離れ、芸術の中心地パリで「ピュリズム(純粋主義)」の運動を推進した時代に焦点をあて、絵画、建築、都市計画、出版、インテリア・デザインなど多方面にわたった約10年間の活動を振り返ります。

第一次大戦の終結直後の1918年末、ジャンヌレと画家アメデ・オザンファンは、機械文明の進歩に対応した「構築と総合」の芸術を唱えるピュリズムの運動を始めました。そして、絵画制作に取り組みながら新しい建築の創造をめざしたジャンヌレは、1920年代パリの美術界の先端を行く芸術家たちとの交流から大きな糧を得て、近代建築の旗手「ル・コルビュジェ」へと生まれ変わります。

本展はル・コルビュジェと彼の友人たちの美術作品約100点に、建築模型、出版物、映像など多数の資料を加えて構成されます。ル・コルビュジェが世に出た時代の精神を、彼自身が作り出した世界遺産建築の中で体感できる、またとない機会となるでしょう。

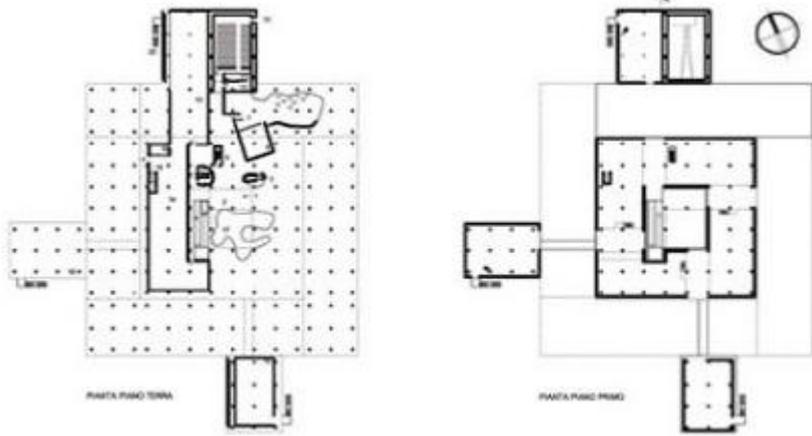
この他、講演会、スライドトーク、特別建築ツアーも予定されています。詳細はそれぞれのページをご覧ください。

上野・西洋美術館



国立西洋美術館は印象派など19世紀から20世紀前半の絵画・彫刻を中心とする松方コレクションを基として、1959年(昭和34年)に設立された。

西洋美術館 1959年6月10日開館

<p>Sanskar Kendra Museum</p>	<p><a href="http://www.nmwa.go.jp/">http://www.nmwa.go.jp/</a>  <a href="https://www.inexhibit.com/mymuseum/sanskar-kendra-city-museum-ahmedabad-le-corbusier/">https://www.inexhibit.com/mymuseum/sanskar-kendra-city-museum-ahmedabad-le-corbusier/</a></p>	
		
<p><a href="http://www.sosbrutalism.org/brutalism/">http://www.sosbrutalism.org/brutalism/</a></p> 	<p><a href="http://www.sosbrutalism.org/brutalism/">http://www.sosbrutalism.org/brutalism/</a></p> <p>コルがインド・アーメダバットに設計した美術館で西洋美術館と同じ時期に設計された。こちらの方が少し大きく中庭のある。</p>	<p><a href="http://www.sosbrutalism.org/brutalism/">http://www.sosbrutalism.org/brutalism/</a></p> 
 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 Entrata del pubblico</li> <li>2 Casella</li> <li>3 Chiosco</li> <li>4 Rampe d'accesso al museo</li> <li>5 Sala pubblica</li> <li>6 Sala che porta all'ufficio del sovrintendente</li> <li>7 Biblioteca</li> <li>8 Deposito film</li> <li>9 Sala conferenze</li> <li>10 Conferenziere</li> <li>11 Tribuna</li> <li>12 Uscite di sicurezza</li> <li>13 Inclinamento delle espressioni</li> <li>14 Deposito delle collezioni</li> <li>15 Montacarichi</li> <li>16 Museo</li> <li>17 Sala d'attesa</li> <li>18 Annesso per l'antropologia</li> <li>19 Annesso</li> <li>20 Scale</li> <li>21 Sala d'aspetto</li> <li>22 Sala</li> <li>23 Oratorio</li> <li>24 Cantiero per artisti</li> </ul> <p>Ad dentro dei locali formati dalle spesse e massicce navate, le pareti corrispondenti ai muri esterni saranno in intonaco bianco, invece le superfici interne dei muri che circondano le collezioni saranno dell'edificio sono lasciati in mattoni a vista.</p> 		
<p>Sanskar Kendra is a museum at Ahmedabad, India,</p>	<p>Completed in 1956,</p>	
<p>Sanskar Kendra is a museum at Ahmedabad, India,</p>		